



DIGITAL MIXING CONSOLE

**CL** SERIES

DIGITAL MIXING CONSOLE

**QL** SERIES

## CL/QL StageMix V8.5 追補ユーザーガイド

---



### ようこそ

このたびは、ヤマハデジタルミキシングコンソールCLシリーズ、QLシリーズ用iPadアプリケーション「CL StageMix」「QL StageMix」(以下StageMix)をダウンロードいただきありがとうございます。この補足ユーザーガイドでは、CL/QL StageMix V8.1およびV8.5で導入された新機能と変更点について説明します

StageMixはCL/QLシリーズのパラメーターをワイヤレスコントロールするiPadアプリケーションです。StageMixを使用すれば、ミキシングエンジニアはステージ上で演奏者のポジションやCL/QLシリーズから離れたところで直接CL/QLシリーズのミキシングパラメーターを操作できるようになります。iPadならではのシンプルかつ直感的な操作性によってセットアップの時間が短縮され、CL/QLシリーズのライブサウンドセッティングがさらに快適なものとなります。StageMixはステージ上でのモニターミックスの調整に重点を置いていますが、その機能はますます充実しており、幅広いリモートコントロール機能をお使いいただけます。

Note: 地域によってはiOSアプリケーションを利用できない場合があります。詳細はヤマハのディーラーにお問い合わせください。

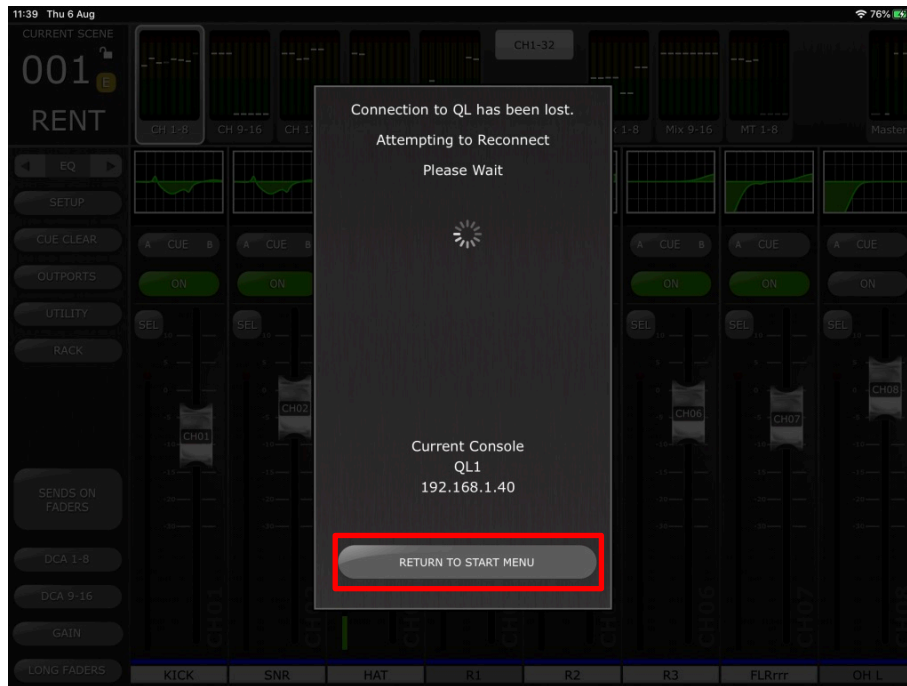
最新ファームウェアは、下記のURL からダウンロードできます。  
<http://www.yamahaproaudio.com/>

## 目次

	Page
1. コンソールから切断してスタートメニューに戻る.....	3
2. HIDE UNUSED (未使用の MIX/MATRIX センドを隠す).....	5
2.1 SENDS ON FADERS モードで未使用 MIX/MATRIX センドを隠す.....	6
2.2 チャンネルセンド画面で未使用 MIX/MATRIX センドを隠す.....	7
3. GEQ および PEQ8 ライブラリー.....	9

## 1. コンソールから切断してスタートメニューに戻る

V8.1 以降、StageMix は iOS のマルチタスクをサポートするようになりました。この結果、操作中に iPad のホームボタンが押された場合など、StageMix がバックグラウンドに遷移したとき、StageMix を再度開くたびに StageMix は自動的に以前使用していたコンソール IP アドレスへの再接続を試みます。



以前のコンソールが使用できなくなった場合や、別のコンソールの IP アドレスに接続する場合は、[RETURN TO START MENU] ボタンを選択します。これにより、StageMix がスタートメニューに戻り、別のコンソールを選択したり、新しいコンソール接続を作成したりすることができます。

NOTE: アプリがバックグラウンドに遷移してから再び開くまでに長い時間が経過した場合、iOS がアプリを完全に閉じている可能性があります。この場合、StageMix はスタートメニューに戻ります。

また、StageMix を使用している間は、セットアップメニューのトップバーにある [Disconnect and Return to Start Menu] ボタンをタッチすることで、いつでもスタートメニューに戻ることができます。



iPad の App スイッチャー経由で StageMix を強制終了すると、次に StageMix を起動したときは直接スタートメニューが開きます。

オフラインデモモードの場合、スタートメニューに戻るには、セットアップメニューの [Disconnect and Return to Start Menu] ボタンを使用するか、StageMix を強制的に閉じて再起動してください。

別のコンソールに接続するために現在のコンソールから StageMix を切断するには、[Disconnect and Return to Start Menu] ボタンを使用します。

## 2. HIDE UNUSED (未使用の MIX/MATRIX センドを隠す)

この機能は、以下の 2 つの画面に適用されます。

- SENDS ON FADERS 画面
- チャンネルセンド画面

この機能を有効にすると、使用されていない MIX/MATRIX センドは一時的に表示されなくなります。その結果、選択された操作対象のバスへのセンド、または選択されたチャンネルから送信されているセンドのみが表示されます。これにより、どのチャンネルがその時点で実際に操作対象の MIX/MATRIX バスに音声を出しているのか、あるいは選択されたインプットや MIX チャンネルがどの MIX バスや MATRIX バスに送信しているのかをすばやく識別することができます。

HIDE UNUSED を有効にした場合、どの MIX/MATRIX センドが実際に非表示となるかは、SETUP 画面で適用されているモードと、そのときの各 MIX/MATRIX センドの状態に依存します。



次の 3 つのモードのうちの 1 つを、セットアップ画面で選択することができます (セットアップ画面については StageMix ユーザーガイドの 10 章を参照してください)。

- Send OFF  
有効にすると、オフになっている MIX/MATRIX センドは非表示になります。
- Fader  $-\infty$   
有効にすると、センドレベルが  $-\infty$  (マイナス無限大) に設定されている MIX/MATRIX センドは、非表示になります。

- Fader & OFF  
有効にすると、オフになっている MIX/MATRIX センドや、センドレベルがマイナス無限大に設定されている MIX/MATRIX センドは、非表示になります。

## 2.1 SENDS ON FADERS モードで未使用 MIX/MATRIX センドを隠す

SENDS ON FADERS モードに入ってください（StageMix ユーザーガイドの 4.11 章を参照してください）。

HIDE UNUSED を有効にするには、左側のサイドバーの[HIDE UNUSED]ボタンをタッチします。



この機能を有効にすると、メイン画面にある 8 つのフェーダーと上部メーターブリッジの両方で、未使用のチャンネルストリップは表示されなくなり、アクティブなセンドチャンネルストリップのみが表示されます。

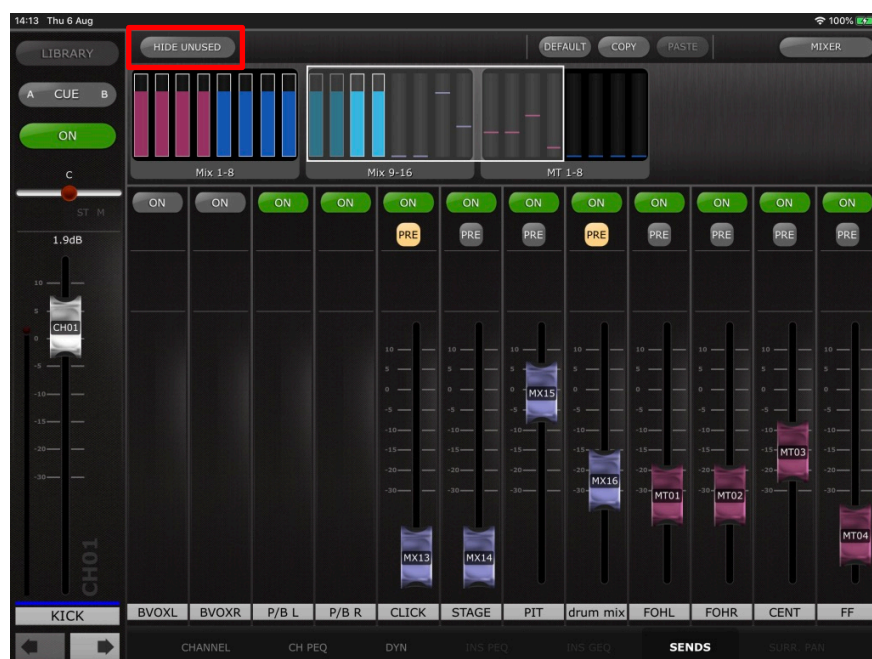


SENDS ON FADERS 画面で全チャンネルのセンドフェーダーを表示するには、左サイドバーの [HIDE UNUSED] を無効にしてください。

NOTE: 操作対象の MIX/MATRIX の切り替えや SENDS ON FADER 画面に入り直しても、HIDE UNUSED は有効のままです。

## 2.2 チャンネルセンド画面で未使用 MIX/MATRIX センドを隠す

チャンネルセンド画面に移動します (StageMix ユーザーガイドの 5.9 章を参照してください)。HIDE UNUSED を有効にするには、トップバーの [HIDE UNUSED] ボタンをタッチします。



この機能を有効にすると、オーバービュースクロールエリアを含め、未使用の MIX/MATRIX センドフェーダーが表示されなくなり、出力されるフェーダーのみが表示されます。



NOTE: HIDE UNUSED の画面表示は、以下の操作を行うと自動的に更新されます。

- シーンリコール
- チャンネルライブラリーのリコール
- チャンネルペースト
- チャンネルデフォルト
- チャンネル移動

NOTE: HIDE UNUSED の表示状態は、接続されているコンソールから MIX/MATRIX センドを ON にしたり、センドレベルを $-\infty$ (マイナス無限大)より大きくしても更新されません。StageMix の画面を更新するには、手動で [HIDE UNUSED] を無効にし、再度有効にする必要があります。

HIDE UNUSED は、チャンネルを移動しても有効なままです。



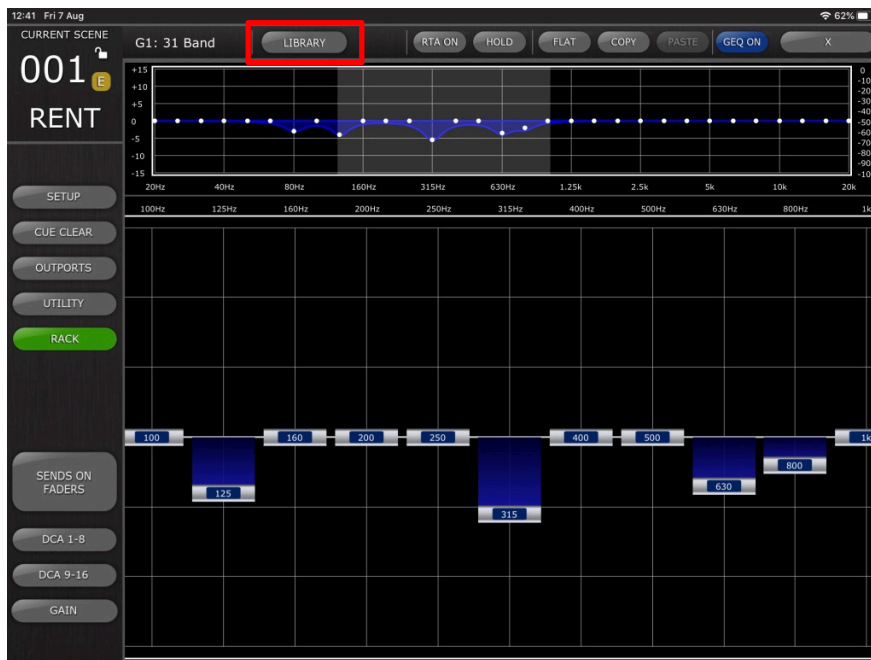
### 3. GEQ および PEQ8 ライブラリー

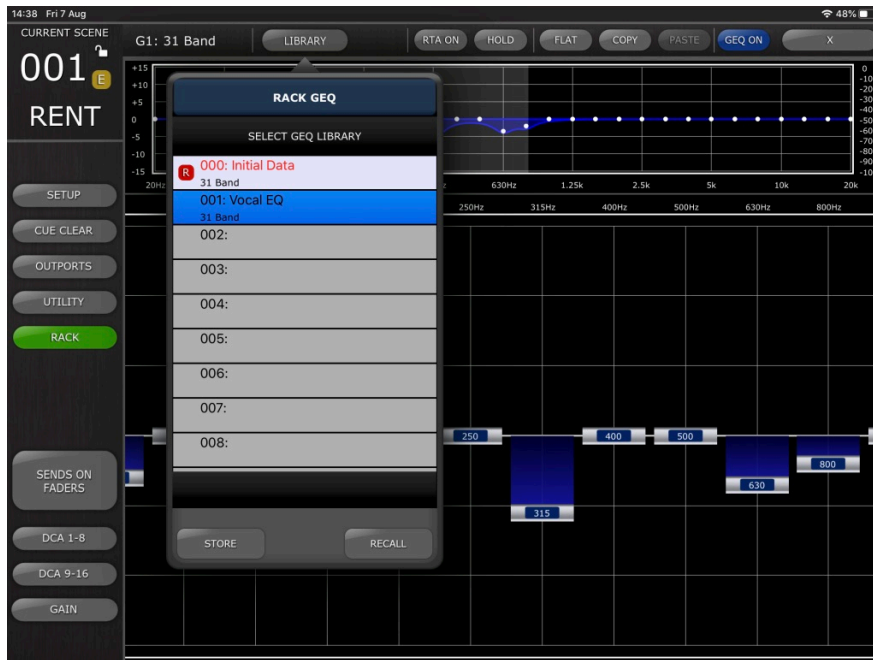
StageMix の GEQ と 8 バンド PEQ(PEQ8)のライブラリーにてストアとリコールができるようになりました。

これらのライブラリーは、ラックまたは対応するチャンネルに GEQ/PEQ8 がインサートされている設定画面からアクセスすることができます。

(ラックへのアクセスとコントロールについては、StageMix ユーザーガイドの 8.0 章を参照してください。)

ラックから GEQ/PEQ8 設定画面を開いた場合、StageMix のトップバーにある [LIBRARY] ボタンをタッチすると、ライブラリーにアクセスすることができます。これにより、現在、コンソールにストアされているすべてのライブラリーのリストがポップアップ画面として開きます。





リストから必要なライブラリープリセットを選択し、[RECALL]をタッチすると、そのライブラリープリセットが現在の GEQ または PEQ8 に適用されます。

現在の GEQ または PEQ8 の設定を新規または既存のライブラリープリセットに保存するには、ライブラリータイプとプリセット番号を選択してから [STORE] をタッチします。キーボードを使ってプリセットに名前を付けます。

選択されているチャンネルから GEQ/PEQ8 設定画面を開いた場合、左上の [LIBRARY] ボタンをタッチすると、これらのライブラリーにアクセスすることができます。ストア、ライブラリーリコールの操作は上記と同様です。





NOTE: FLEX15 GEQ では 16 個以上バンドを使用している GEQ ライブラリーをリコールできません。

## ご注意

- このソフトウェアおよび取扱説明書の著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。  
したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。
- Apple、Appleロゴ、およびiPadは、米国および他国のApple Inc.の登録商標です。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- 本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト  
<http://www.yamahaproaudio.com/>

ヤマハダウンロード  
<https://download.yamaha.com/>

Manual Development Group  
© 2020 Yamaha Corporation  
2020年11月発行 YJMK-A1